

今川公園 好循環通信

vol. 6 【楽しい工夫で好循環？好循環は役に立つ！】

前号に続き竹のお話です。12月に切った竹の数はおおよそ100本1月になってからも50本程度は伐採する予定です。伐採した竹はすべて無駄なく利用します。昔から人々の身近な道具や材料として使われていました。今川公園でもクラフト教室などでよく使われています。小さいものではお箸やトング・お皿や茶わん・花器など、大きなものでは竹箒やいろいろな竹垣の材料にもなります。炭焼きの窯があれば竹炭もできます。今川公園では、毎年この時期に竹垣の改修を行います。創作四ツ目垣と竹穂垣の2種類です。



測りだしと解体



親柱・子柱・立子・胴縁を組み立て、スパンごとに進めています。



骨格が出来上がりました。



仕上げの棕櫚縄で結束（男結び）します。

解体した竹は後日チップにして竹林内に散布し土に帰します。
出来上がった四ツ目垣は転落防止のためと、景観の保全に役立つものと思います。



緑とコミュニティーグループ
公式キャラクター
『きりかぶくん』

今川公園 指定管理者 緑とコミュニティーグループ